

子どもへスマートフォンを与えることについては疑念の声

一方で「デジタル教育ツール」の普及と進む理解

デジタル教育ツール*¹賛成派 74%、「子供が楽しんで勉強してくれそう」、が多数
 しかし、子どものスマートフォンの保持については賛成派が 21.6%、
 反対理由のTOP3は「通信費」「ネットトラブル」「携帯依存症」が要因との回答
 ～インターエデュ・ドットコム調べ 「2013年『デジタル教育ツールとスマートフォンの実態調査』より～

*1 PCでのインターネット・ソフト/ゲーム機/スマートフォン/携帯電話/タブレット/電子辞書など

<調査の背景>

近年になって普及の進む「スマートフォン」や「タブレット」などのデジタルツール。子どもたちもインターネットに触れる機会が多くなってきており、パソコンの授業が組み込まれている小学校もあります。幼稚園～大学受験情報を扱うインターネットサイト「インターエデュ・ドットコム」を運営する弊社では、小学生～中学1年生の子どもを持つ親に対して、『デジタル教育ツールとスマートフォンの実態調査』を行いました。

<調査総括>

「デジタル教育ツール」には賛成する親が非常に多く、教育現場だけでなく、家庭でも理解を得られてきている。スマートフォンが市場シェアを拡大していく現在、スマートフォンが受験勉強のツールとして受け入れられるには、未だに多くの問題を抱えている。今後、親の心配をクリアして、子供が正しく上手に使えるインターネット環境やデジタル教育ツールが登場すれば更なる市場発展が望まれる。

<調査TOPICS>

1. デジタル教育ツール賛成派は74%、「子どもが楽しんで勉強してくれそう」が半数以上に。
 一方、反対派は26%、理由としては、「目が悪くなりそう」が6割に。
 ⇒デジタル教育ツールについては一般に普及してきており、教育現場だけでなく、家庭でも理解を得られてきている。
2. スマートフォンを子どもに持たせてもよいと考える親は約2割。一方、約8割の反対派の理由として、「通信費」「ネットトラブル」「携帯依存症」に半数以上が懸念の声。
 ⇒スマートフォンならではの通信機能による障害がデジタル教育ツールとしての普及を遅らせている。
3. スマートフォンに反対の親が約8割に対し、スマートフォンが欲しい子どもは約4割に。最も欲しいと答えたのは16%。子どもの最も欲しいもののランキング、ゲーム機やソフトに続き2位に。
 ⇒ゲームやインターネット、カメラなどが使えることが評価され、ゲーム機に続く2位に。
4. 子どもに人気の習い事TOP5は、「学習塾」、「通信教育」、「ピアノ」、「スイミング」、「英語・英会話」
 小学生の中では、受験意識ありの子どもの46%が「学習塾」に通う。一方、意識なしの子どもは20%に。
 ⇒家庭でも使えるはずのデジタル教育ツールの普及が進む中、受験勉強の方法については「学習塾」へ通うことが良いと考えている人が多いことが伺える。
5. 受験意識のない小学生の帰宅時間は17時～18時台が最も多いが、受験意識のある子どもは19～20時台が最も多い。帰りが遅いことに関しての防犯対策については、「親や友達の親が送迎している」が71%、特に対策をしていない人は10%。
 ⇒受験意識のある子どもは、帰りが遅くなりがちで、「子どもの帰りが遅い」という不満もある。また、10人中9人が何かしらの防犯対策をしていることが分かりました。

※本調査の<調査設計>についてはP.7をご参照ください。

-----報道関係の方からのお問い合わせ先-----

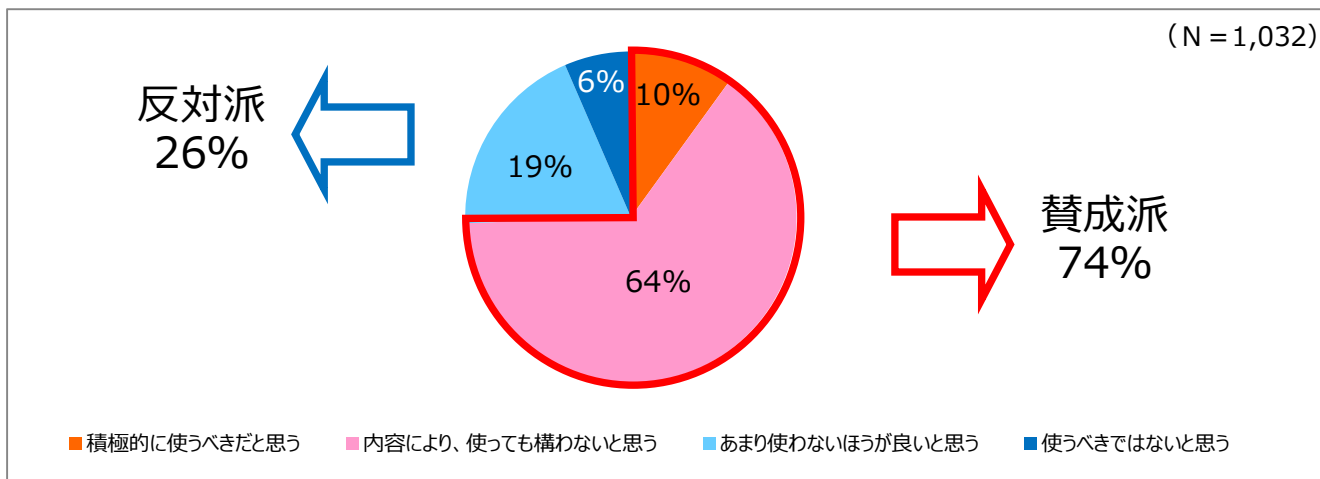
株式会社インターエデュ・ドットコム 調査担当 E-mail : e.contact@inter-edu.com

(文中および表中の数字は、小数点第1位を四捨五入しているため、全体の%が100%と異なることがあります。)

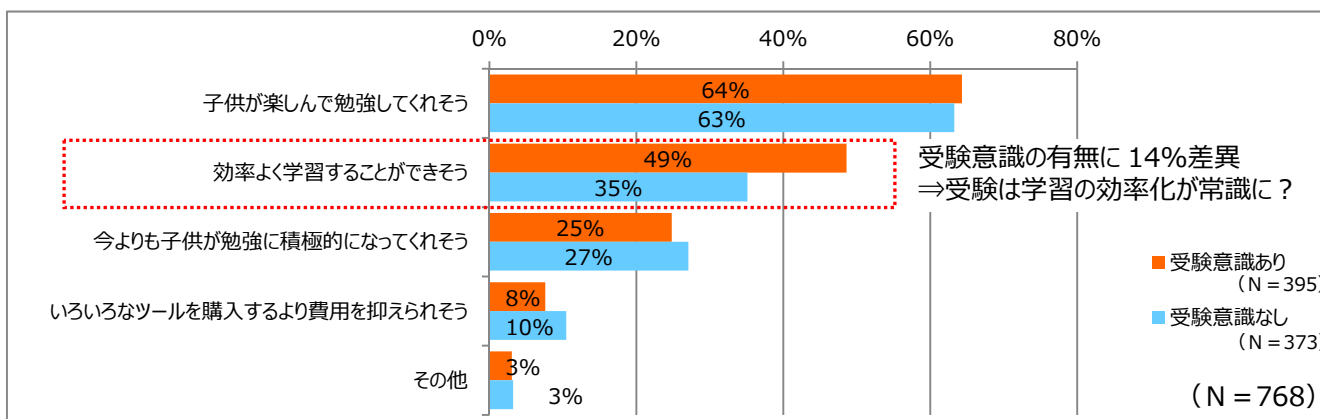
< 『デジタル教育ツールとスマートフォンの実態調査』結果の概要 >

1. デジタル教育ツールに関して賛成派が74%。一般への理解が浸透。大人への理解も進む。賛成派の受験意識のある子どもを持つ親は、約半数が「効率よく学習することができそう」と回答。

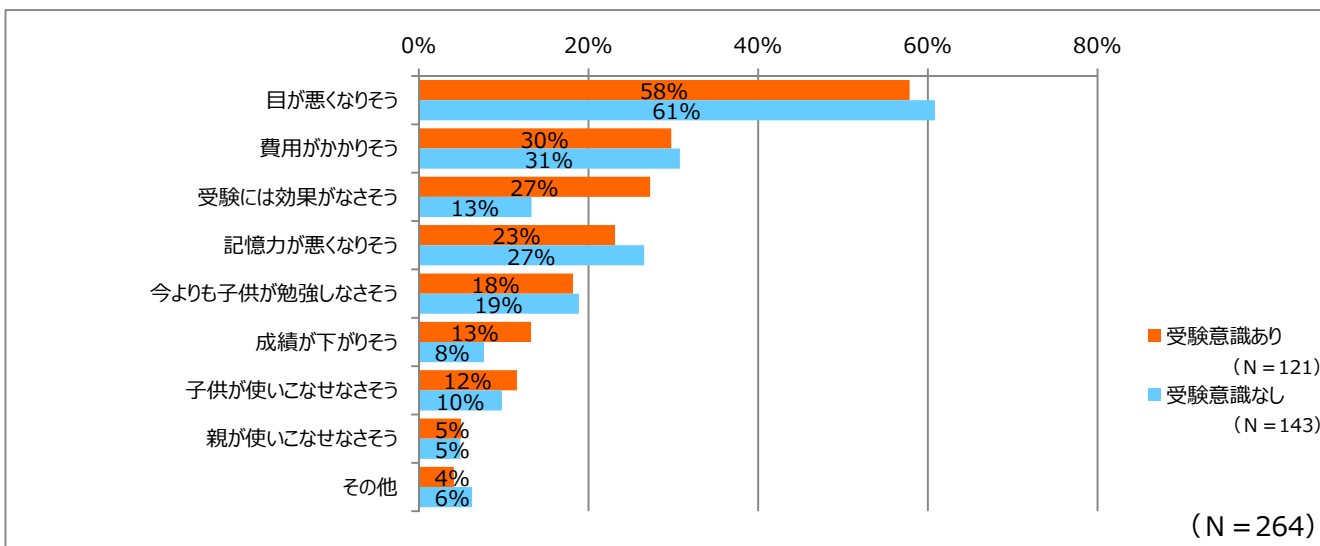
■ あなたはお子様の勉強・学習にデジタル教育ツールを使わせることについて、どのように思いますか？ (S A)



■ あなたは、お子様の勉強・学習にデジタル教育ツールを使わせた場合、どのようなメリットがあると思いますか。(M A)

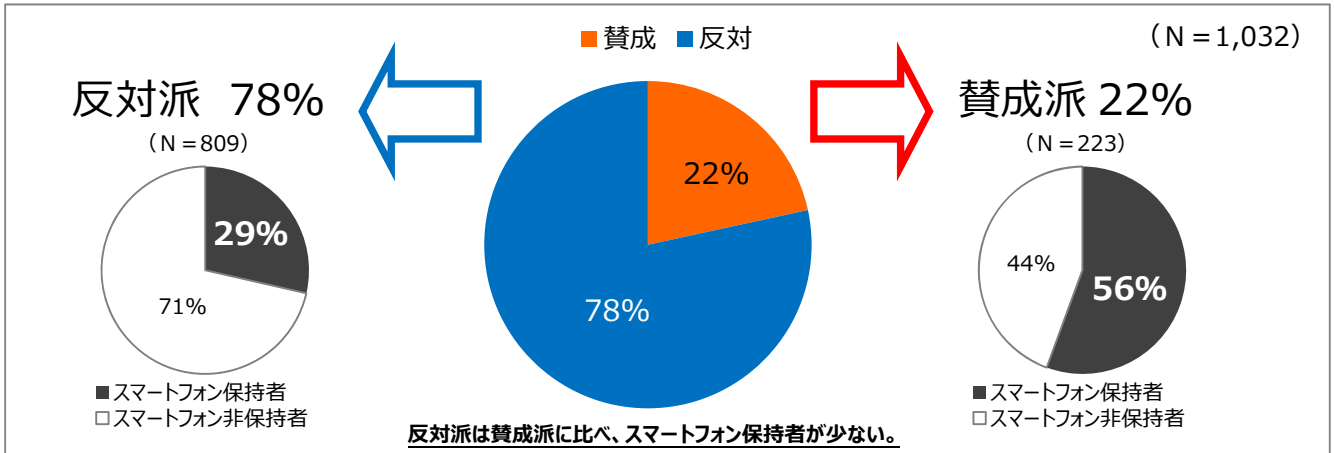


■ あなたは、お子様の勉強・学習にデジタル教育ツールを使わせた場合、どのようなデメリットがあると思いますか。(M A)

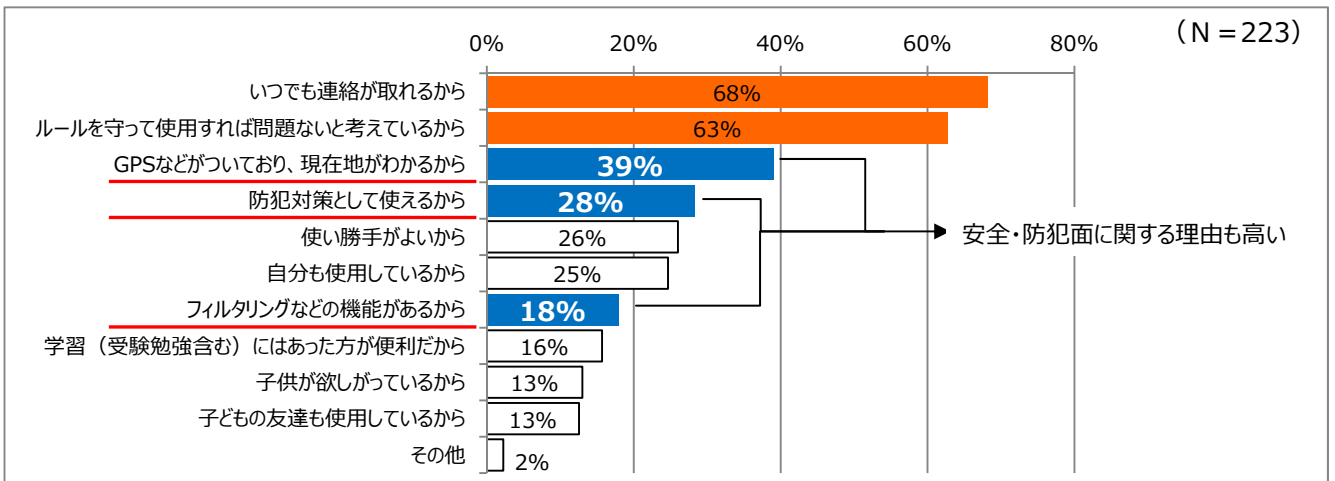


2. スマートフォンを子どもに持たせてもよいと考える親は約 2 割。**賛成派と反対派のスマートフォン保持率に大きな差。**
 スマートフォンの利便性を知っている人でこそ、子どもにも薦められるようである。一方、約 8 割の反対派の理由として、「通信費」「ネットトラブル」「携帯依存症」に半数以上が懸念の声。

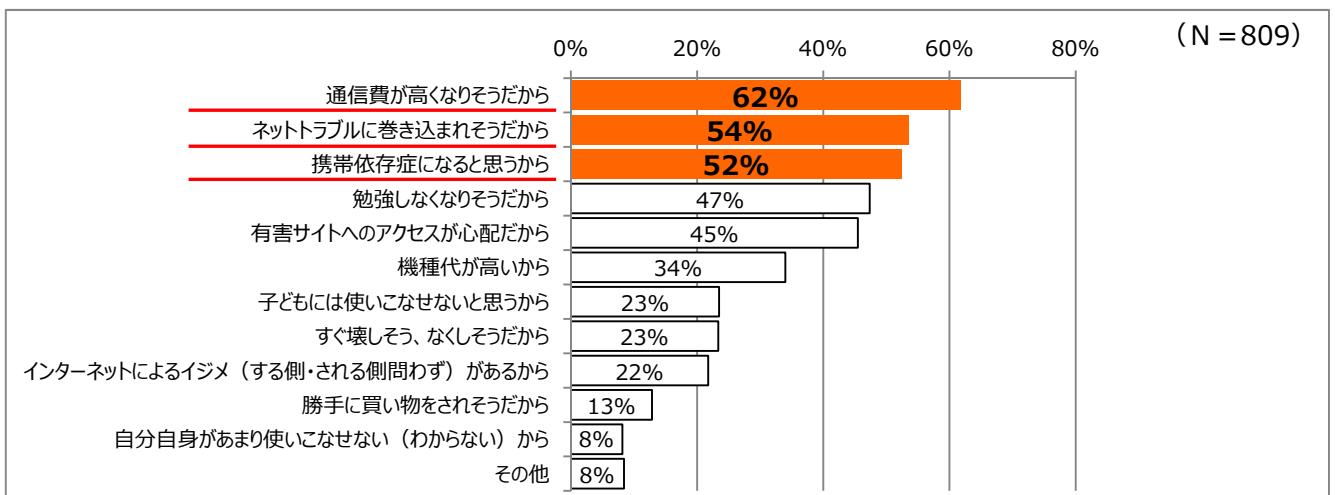
■あなたは、お子様にスマートフォンを持たせることに賛成ですか、反対ですか。（S A）



■あなたが、お子様にスマートフォンを持たせることについて、賛成する理由をすべてお選びください。（M A）

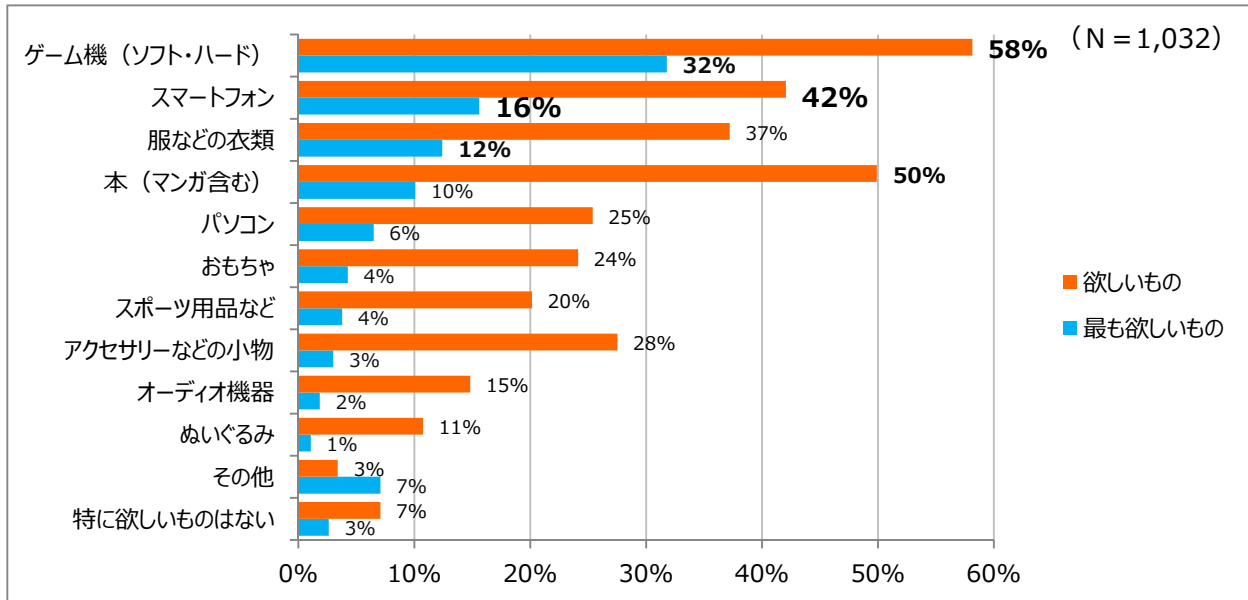


■あなたが、お子様にスマートフォンを持たせることについて、反対する理由をすべてお選びください。（M A）

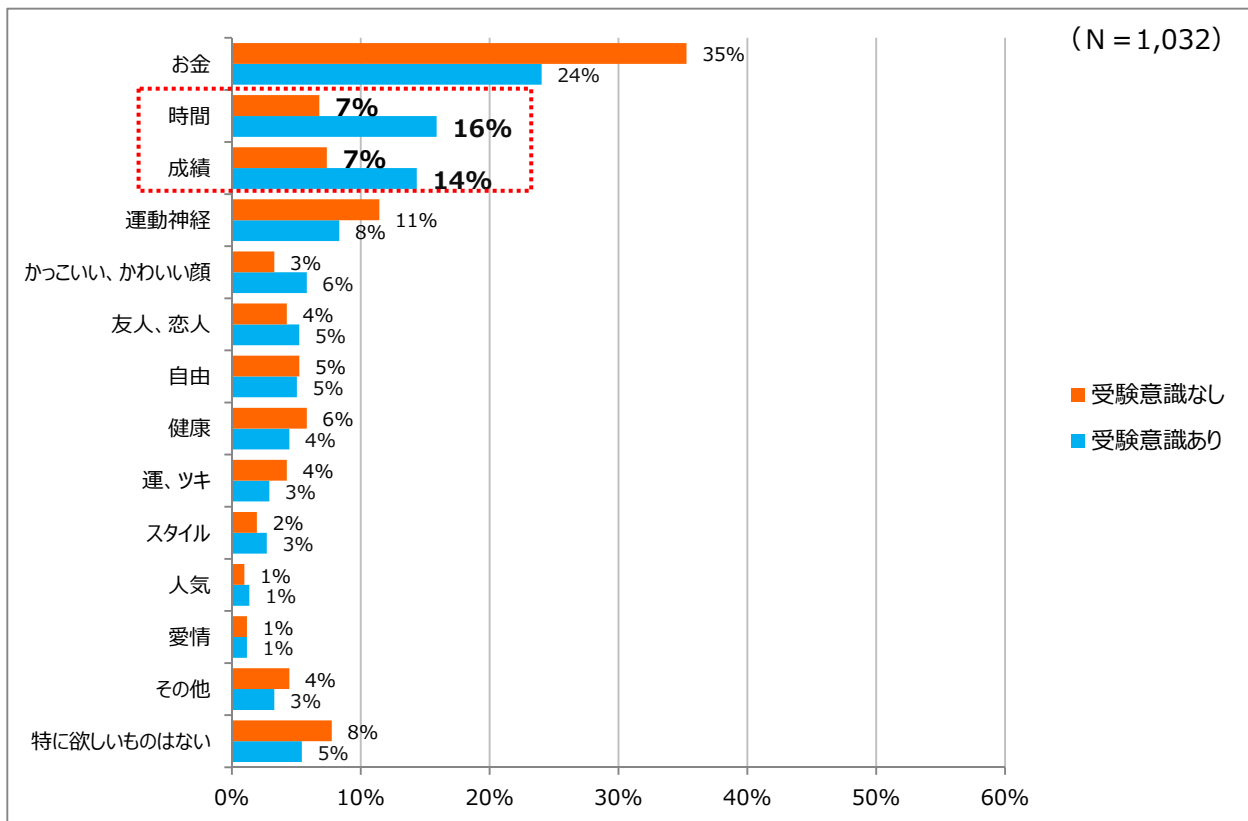


3. スマートフォンに反対の親が8割に対し、スマートフォンが欲しい子どもは4割に。最も欲しいのは16%。子どもの最も欲しいものランキング、ゲーム機（ソフト・ハード）に続き2位に。**親の意向と異なり、スマートフォンを欲しがらる子どもが多い**ことが分かりました。また、お金で買えないもので最も欲しいものについては受験意識のある子どもは「成績」だけでなく、「時間」も高く、**受験意識のある子どもは、時間に追われている**ことが推測できます。

■あなたが今欲しいものをすべてお選びください。また、その中で最も欲しいものを1つお選びください。（お金で買えるもの）



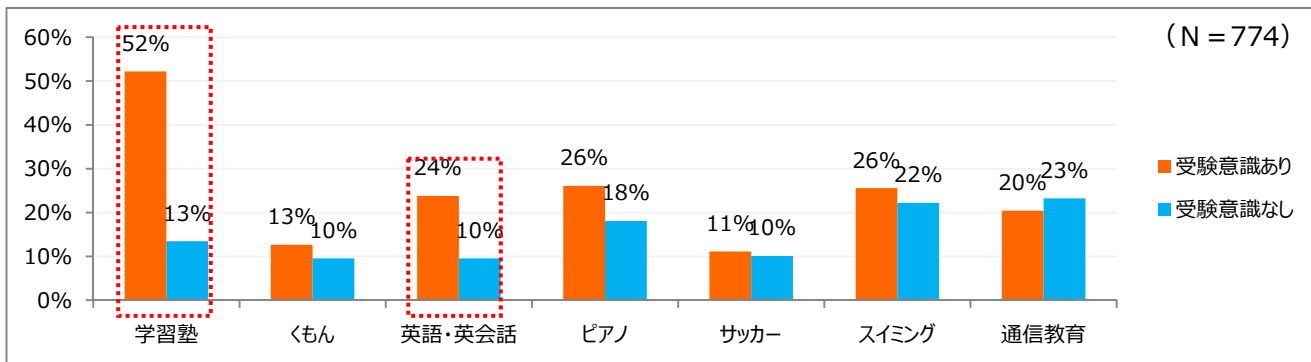
■あなたが今、最も欲しいものを1つお選びください。（お金で買えないもの）



4. 子どもに人気の習い事TOP5は、「学習塾」、「通信教育」、「ピアノ」、「スイミング」、「英語・英会話」

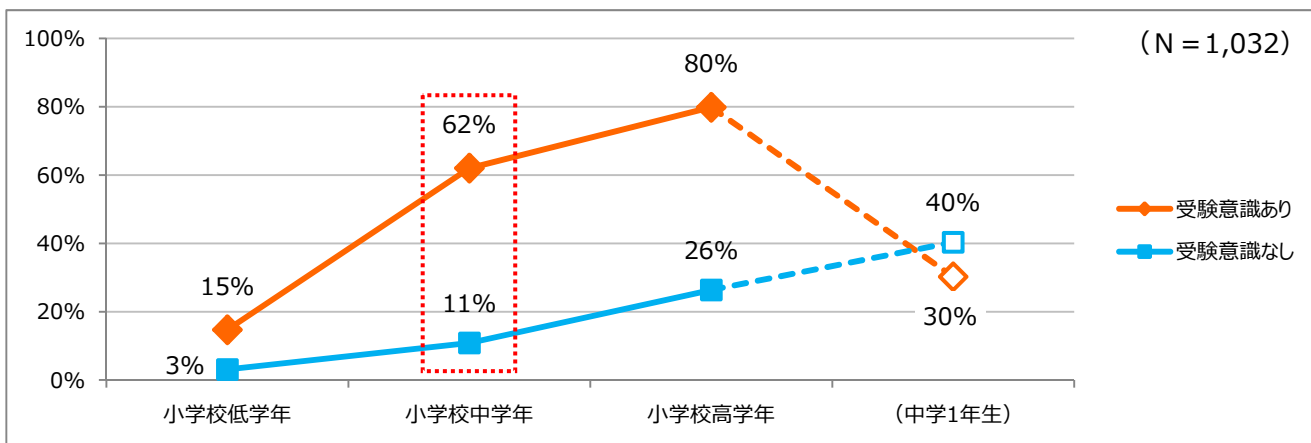
小学生の中では、受験意識ありの子どもの52%が「学習塾」に通う。一方、受験意識なしの子どもは13%に。家庭でも使えるはずのデジタル教育ツールの普及が進む中、**受験勉強の方法については「学習塾」へと通う**ことがよいと考えている人が多いことが伺えます。

■ お子様は現在、塾や習い事をしていますか。あてはまるものをすべてお選びください。



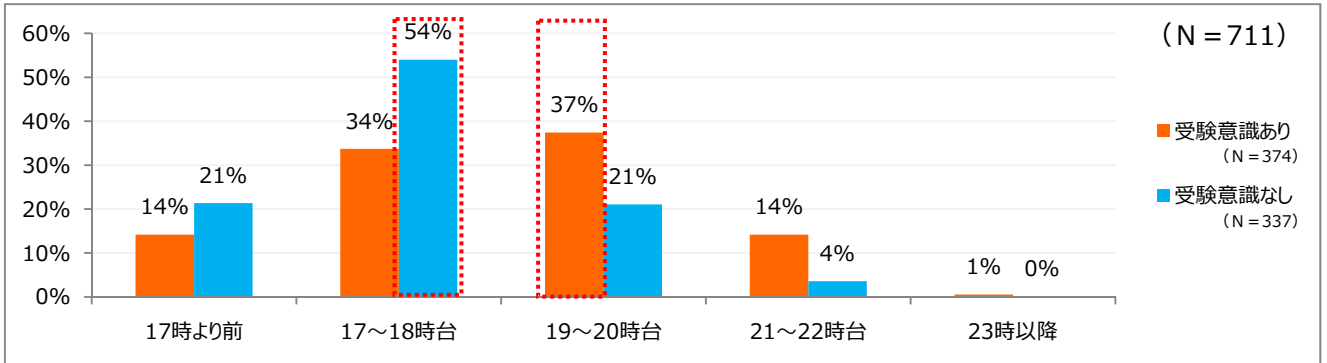
(参考) 世代別 学習塾 接触状況

⇒ 受験意識のある小学生は、中学年（3～4年生）から塾へ通う傾向がある。

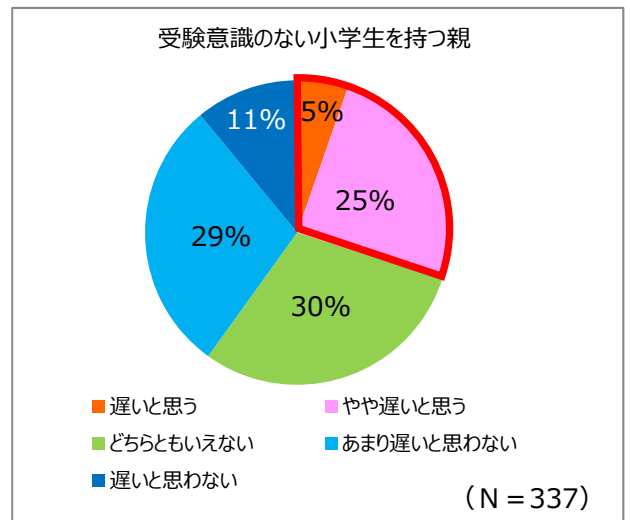
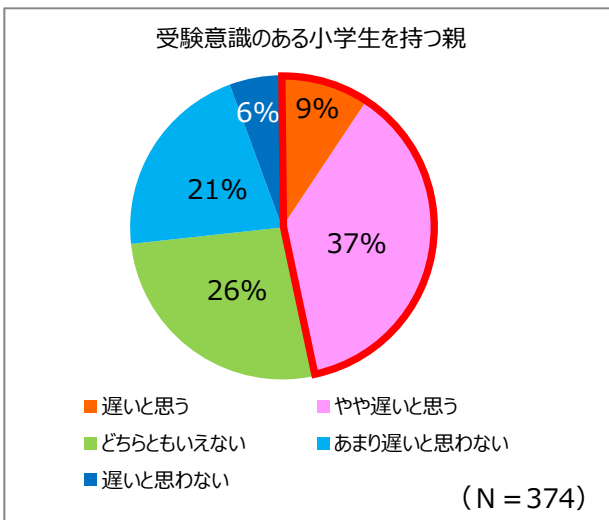


5. 受験意識のない小学生の帰宅時間は17時～18時台が最も多いが、受験意識のある子どもは19～20時台が最も多い。同様に、受験意識のある親も「子どもの帰りが遅い」という不満も。帰りが遅いことに関しての防犯対策については、「**親や友達の親が送り迎えをしている**」が**71%**、特に対策をしていない人は9.7%。**10人中9人が何かしらの防犯対策をしている**ことが分かりました。

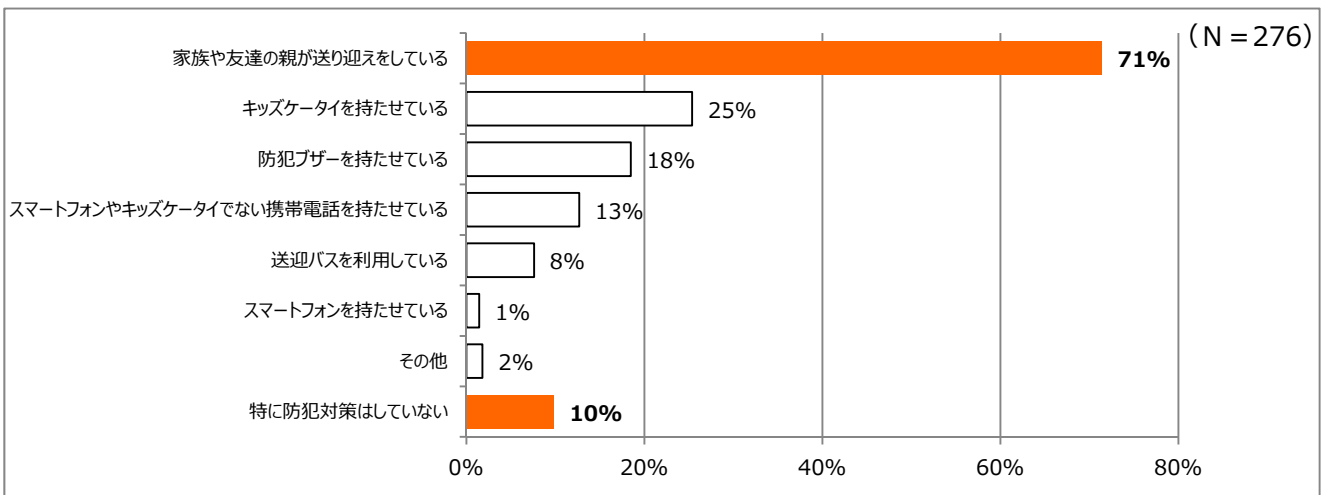
■ お子様は塾や習い事から帰ってくるのは、何時頃になりますか。（※最も遅くなる習い事の中で）（S A）



■ あなたはお子様の塾や習い事の帰り時間が遅いと思いますか。（S A）



■ あなたは、子供の帰りが遅いことで何か防犯対策をしていますか。（M A）



<調査設計>

- 1) 調査方法 : インターネット調査 (マクロミルに委託)
- 2) 調査対象者 : 全国の小学生～中学 1 年生の子どもを持つ親とその子ども (子どもに関しては親が回答) (N=1,032)
- 3) 有効回収数 :

対象者の子どもの学年	小学校低学年 (1～2 年生)	小学校中学年 (3～4 年生)	小学校高学年 (5～6 年生)	中学校 1 年生* ²
中学受験意識あり	129	129	129	129
中学受験意識なし	129	129	129	129

*2 中学生については中学受験経験の有無で分類

- 4) 実施期間 : 2013 年 1 月 11 日～15 日

■参考情報

◇会社概要／プロフィール

社名 :

本社所在地 : 〒163-0722 東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 22F

事業内容 : 受験教育情報ウェブコンテンツ配信事業／教育関係デジタルコンテンツ作成事業／
教育・学校・学習塾関連コンサルティング事業

URL : <http://www.inter-edu.com/>

代表者 : 取締役社長 河端真一

設立 : 2000 年 3 月

営業開始 : 2000 年 5 月 9 日

資本金 : 4000 万円

◇inter-edu とは

カリキュラムの大改訂、学校 5 日制の開始 (2002 年)、大学全入時代の到来 (2009 年)、文部省の塾認知、小学英語の土・日塾委託など、21 世紀の教育を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。それは入試の場にも大きな影響を与えることとなり、現在の小学生は将来、これまででは全く考えられなかった受験を経験することになります。受験生・父母はもとより、学校も激変する受験・教育環境の動きをいち早くキャッチする必要があります。21 世紀は、情報を制する者が社会を制すると言われ、受験・教育の分野でも本格的な情報化時代へと突入します。「インターエデュ・ドットコム」は、日ごろ受験指導に情熱を注ぐ教師の立場から発想し、インターネットを通じて中立的・本格的な受験情報サービスを行う、はじめての専門サイトとして誕生しました。

◇「インターエデュ・ドットコム」は受験指導者が発想した受験情報専門ポータルサイトです。

激変する入学試験に特化する専門サイトです「インターエデュ・ドットコム」は、学校選択と入試に役立つ最新情報をインターネットを通じて無料配信します。私立中・高・大学受験にすぐれた実績を持つ有名学習塾、予備校が強力に推進します。

インタラクティブな情報提供を積極的に行ないます「インターエデュ・ドットコム」は、単に学校案内や入試情報だけを提供するものではありません。インターネットの強みであるインタラクティブ性を生かし、志望校に応じた個別指導や進路相談、カウンセリング、メールマガジン発行などを視野に入れ、生徒一人ひとりに役立つ真に有益な教育サイトとして機能することを目指します。開かれた中立ポータルサイトを目指します「インターエデュ・ドットコム」は、特定の学校はもちろん、特定の学習塾、企業などに肩入れしない開かれた中立ポータルサイトをめざします。ポータル (玄関の) とは、受験生にとってまさに入口になるという意味です。